

# 中小企業のコラボレーションを 応援します！

中小企業者の皆さまがさらなる成長を目指す際の手段の一つとして、『企業連携』があります。  
自社の経営資源だけでは限界があっても、複数の企業が連携し協力することで、1社単独では得られない大きな成果につながる可能性があります。

※『企業連携』…… 複数の企業が相互利益のために構築する、多種多様な協力形態。

## オール秋田で、新たなステージへ

- 強みを持ち寄り新たな付加価値を創造することにより、お客様への提案力を向上
- 横のつながりの強化により、多様な取引関係を創出、情報収集力・発信力を強化
- 技術・人材・ノウハウ等の補完により、新規投資の負担を軽減して新たな取組を展開

連 携

新たな取引先を  
開拓したい

新分野に  
進出したい

新製品を  
開発したい



# 企業連携の事例紹介

## ～新しい「東京土産」の開発を目指して～東京お醤油プロジェクト

〔株式会社生産者直売のれん会〕

×

〔株式会社菓子舗榮太楼 株式会社塚本商店  
株式会社川口屋 株式会社佐藤商事  
株式会社蒔月堂 パティスリー白川〕



### 〈連携の経緯〉

市場規模の大きい東京都におけるお土産品市場への参入を目指した「東京でのお土産品開発支援事業」により実施した。

### 〈新製品の概要〉

東京土産のコンセプトとして、東京産の素材を使用することとし、東京で唯一の醤油製造元である近藤醸造の「お江戸醤油」を使用した商品を開発した。

### 〈連携の成果〉

平成29年2月に東京で行われたギフトショーに出展し、商品企画、コンセプト、味等において多くのバイヤーから高評価を受けた。また、テスト的な販売ではあったが、平成29年5月中旬から6月上旬まで、東京都上野駅にて東京土産の代名詞である「東京ばな奈」の隣に陳列することが出来た。

## ～美と技で秋田を魅せる～あきた舞妓オリジナル「きのこ杯」の商品開発

〔秋田・川連塗 寿次郎〕

×

〔株式会社せん〕



### 〈連携の経緯〉

800年以上の歴史を持つ「川連漆器」の新たな魅力づくりや「きのこ杯」の可能性を模索していた秋田・川連塗 寿次郎と、あきた舞妓の育成を通じて観光振興に取り組む株式会社せんと、それぞれの経営資源を生かした新たな商品開発の企画に至った。

### 〈新製品の概要〉

秋田・川連塗 寿次郎が拘り続けてきた素材と技術で、小豆色が特徴的な溜め塗りを施し、盃には秋田県を代表する行事の絵柄をプラチナで描き高級感を出した。

絵柄やサイコロの目、活用法について株式会社せんが幅広く助言、協力し、酒席での利用をきっかけに、秋田県内各地にも足を運んでほしいとの想いを込め、秋田県の魅力を十分に盛り込んだ仕上がりとなった。

### 〈連携の成果〉

完成品の披露後は、新聞掲載効果も相まって、多くの問合せがあり、売上につながっている。また、完成した「きのこ杯」は秋田舞妓の活動の場で秋田の魅力を発信するツールのひとつとして効果的に活用され、観光客に対する秋田県及び川連漆器の知名度向上に貢献している。

◎県内の各支援機関では、企業連携の取組を支援するため、出会いの場の提供やマッチング支援、連携事業実施への資金面、技術面での支援を行っています。

- ◆ 秋田県商工会議所連合会 TEL 018-866-6677
- ◆ 秋田県商工会連合会 TEL 018-863-8495
- ◆ 秋田県中小企業団体中央会 TEL 018-863-8701
- ◆ 秋田県地域産業振興課 TEL 018-860-2241

- ◆ 秋田県信用保証協会 TEL 018-863-9015
- ◆ (公財)あきた企業活性化センター TEL 018-860-5610
- ◆ 秋田県産業技術センター TEL 018-862-3414